

すでにスタートした平成14年度の事業計画の重点目標としては次の様に決定されております。

- ①政策提言、要望活動の積極的展開
- ②中小企業のIT化支援事業の推進
- ③小規模事業対策のより一層の強化拡充
- ④街づくりの推進

以上4つの目標が示されるとともに「親しまれ、信頼される商工会議所づくり」が併せて基本理念とされております。色部前会頭が掲げたこの事業方針を継承するにあたり、具体的にどう進めていくかについて私なりに提案を申し上げ、今後の指針としてご理解を頂きたいと考え、この「FAX通信」に毎号500字の字数制限の中で掲載させていただきます。

振り返ってみますと、会議所創立以来、先ず「組織づくり」「財政基盤の確保」に力が注がれて参り、近隣にないすばらしい組織をもった会議所と成長して参りました。その組織を活用して、今後は会員のためになる会議所として積極的活動を展開することが、新しい活動方針となったと理解しております。

およそ百年前アメリカは大不況に襲われ、人心地に墮ちる時代が続いた時、シカゴの「ポール・ハスリ」と言う青年弁護士が、仲間達に呼びかけて「お互いに分かち合い、助け合う」相互扶助の心を基本理念として「先ず仲間たちから買い、仲間たちに注文する」運動を提唱し、大成功をいたしました。

会員同志の信頼を深め、会員たちが持っている技術、製品、商品を相互活用する循環型消費需要を提案し、助け合う仲間たち運動の実行を急ぎたいものです。